

# 副産物情勢

7月11日 更新

J A 全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																								
内臓	<p>1.国産牛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5月の成牛と畜頭数は、88.0千頭(前年比103.9%)と前年を上回った。 内訳を見ると、和牛:42.2千頭(前年比110.4%)、交雑牛:20.7千頭(同101.0%)、乳牛去勢:10.8千頭(同97.5%)となった。</li> <li>○ 6月の成牛と畜頭数は、速報値(6月30日まで集計)で83.3千頭(前年比94.2%)と前年を下回る見込みとなった。</li> <li>○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(6月26日公表)によると、6月の出荷頭数は、全品種で減少が見込まれることから、前年を下回ると予測する。 7月は、交雑種の出荷頭数が減少するものの、和牛、乳用種で増加が見込まれることから、前年同月を上回ると予測する。 (6月 83.7千頭(前年比94.1%)、7月 99.3千頭(同103.7%))</li> <li>○ 需給動向：赤物は引き続きタン・ハラミ・ホホ等の引き合いが強く、在庫がひっ迫している。レバーは昨年より動きが落ち着いており市中在庫が増えてきている。 白物は全体的に荷動きは芳しくなく、特に小腸が停滞している。ふるさと納税の制度変更、輸入品が拡大した影響等により需給が緩み、安価な投げ物が流通している。</li> </ul>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年4月1日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月26日</td> <td>25</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月18日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月7日</td> <td>25</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>令和4年4月4日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和4年8月8日</td> <td>45</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※乳牛も同様45円/kg *豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月1日	35	7	令和3年4月26日	25	5	令和3年10月18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																							
	令和3年4月1日	35	7																							
令和3年4月26日	25	5																								
令和3年10月18日	35	7																								
令和4年2月7日	25	5																								
令和4年4月4日	35	7																								
令和4年8月8日	45	9																								
<p>2.国産豚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5月の全国豚と畜頭数は、1,360千頭と前年並みとなった。(前年比99.6%) 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道104.2%、東北94.5%、関東98.1%、北陸甲信越94.2%、東海101.9%、近畿100.9%、中四国105.3%、九州・沖縄101.8%</li> <li>○ 6月の全国と畜頭数は、1,205千頭(速報値6月30日まで集計、前年比90.8%)と前年を下回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より2日少なく、1日当たりの平均と畜頭数は60,260頭(前年実績:60,326頭/日、前年差▲66頭/日)となった。</li> <li>○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;6月24日付け)によると、7月;1,294千頭(前年比104%)、8月;1,294千頭(同100%)、9月;1,324千頭(同102%)、10月:1,446千頭(同101%)、11月:1,472千頭(同99%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約101%と前年を上回る見込み。</li> <li>○ 需給動向：ホホコメ・タン・ハラミについては、通年商材であるものの夏場の需要増により一層好調。カシラ肉、ガツは、引き続き加工品仕向けとして引き合いが強い。全体的に冷蔵品であれば一定の引き合いがあるものの、冷凍品、特にレバー・ハツ・小腸・大腸等は荷動きが鈍い。夏場のと畜頭数が昨年度で減少が見込まれることから、今後の需要は堅調に推移していくことが予想される。</li> </ul>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年3月11日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月19日</td> <td>25</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月15日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月1日</td> <td>25</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和4年3月28日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和4年8月1日</td> <td>45</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年3月11日	35	4	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
令和3年3月11日	35	4																								
令和3年4月19日	25	3																								
令和3年10月15日	35	4																								
令和4年2月1日	25	4																								
令和4年3月28日	35	4																								
令和4年8月1日	45	5																								
<p>3.輸入牛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5月の輸入通関実績は、全体で48.5千トと前年を上回った(前年比104.6%、前月比76.7%)。 内訳ではチルド:17.8千トン(前年比110.5%、前月比97.8%)、フローズン:30.7千ト(前年比101.4%、前月比68.2%)となった。 輸入相手国別では、チルドはニュージーランド、豪州が増加したが、米国、カナダ、メキシコは減少した。フローズンも増減はチルドと同様となった。</li> <li>○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、国内需要が低迷する中、現地相場の高騰等による米国産輸入量の減少が見込まれることから、6月、7月は前年同月を下回ると予測する。フローズンは、6月は現地相場の高騰等による米国産輸入量の減少が見込まれることから下回ると予測するが、7月は、国内の輸入品在庫量が多く、前年同月の輸入量が少なかったことから上回ると予測している。3か月平均では、チルドは下回り、フローズンは上回ると見込んでいる。 令和6年6月 合計:42.3千ト(前年比96.9%)、チルド:16.4千ト(同99.4%)、フローズン:25.9千ト(同95.5%) 令和6年7月 合計:42.6千ト(前年比110.1%)、チルド:17.3千ト(同89.4%)、フローズン:25.3千ト(同131.0%)</li> <li>○ 輸入牛内臓実績(令和6年5月):牛腸(冷凍);1,469.5ト(前年比138.2%・前月比108.7%) 国別実績;米国1,199.2ト、メキシコ111.9ト、豪州95.8ト、カナダ59.8ト、他牛レバー(冷凍);146.5ト(前年比175.4%・前月比135.5%) 国別実績;米国104.6ト、豪州38.8ト、メキシコ3.0ト</li> </ul>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年7月22日</td> <td>700</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>500</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月15日</td> <td>100</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月20日</td> <td>100</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和3年5月24日</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月16日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	令和5年10月16日	10	2	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																								
令和元年7月22日	700	10																								
令和2年3月16日	500	10																								
令和2年6月15日	100	10																								
令和2年7月20日	100	2																								
令和2年9月28日	10	2																								
令和3年5月24日	10	10																								
令和5年10月16日	10	2																								
原皮	<p>1.牛原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 輸出実績(令和6年5月):40,715枚(前年比72.7%、前月比77.5%) 国別実績;タイ27,020枚(前年比69.6%)、韓国11,855枚(同177.7%)、ベトナム1,840枚(同41.9%)</li> <li>輸出平均価格(令和6年5月):2,724円/枚(前年差+543円、前月差+73円)</li> <li>○ 輸入実績(令和6年5月):牛大判皮22,712枚(前年比140.5%、前月比153.4%)、ウェットブルー29,254枚※(同106.2%、同148.2%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和6年5月):牛大判皮8,460円/枚(前年差+1,125円、前月差△109円)、ウェットブルー10,835円/枚(同+2,872円、同△551円)</li> <li>○ 海外情勢：底値からは回復しているものの需要期である春のオーダーは想定を下回った。国内、海外共に最低ラインでの生産が続いている。</li> <li>○ 国内情勢：皮革製品需要の減少やタンナーの人手不足等により国内産皮革の流通量が落ち込んでおり、ヌキ原皮中心の流通となっている。</li> </ul>	<p>4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年8月15日</td> <td>1,000</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>800</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月22日</td> <td>300</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月27日</td> <td>300</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和3年6月1日</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月23日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10	令和5年10月23日	10	2
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																							
令和元年8月15日	1,000	10																								
令和2年3月16日	800	10																								
令和2年6月22日	300	10																								
令和2年7月27日	300	2																								
令和2年9月28日	10	2																								
令和3年6月1日	10	10																								
令和5年10月23日	10	2																								
<p>2.豚原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 輸出実績(令和6年5月):937,376枚(前年比94.2%、前月比82.5%) 国別実績;タイ712,236枚(前年比88.0%)、ベトナム112,040枚(同197.6%)、カンボジア82,600枚(同76.9%)、韓国30,500枚(同143.9%)</li> <li>輸出平均価格(令和6年5月):413円/枚(前年差+15円、前月差+37円)</li> <li>○ 需給動向：昨年末の底値を脱し、多少上向いてきているものの、まだ過去5年間の平均価格よりも1ドル近く安い状況にある。 今秋、来春向けオーダーも芳しくなく、大手タンナーの在庫も依然として多いため、本格的な回復を望める状況にはない。</li> </ul>																										
レンジング	<p>1.油脂等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国産食用加工油脂向け価格(7月渡し):牛脂145円/kg(前年差△10円、前月差±0円)、豚脂145円/kg(同△20円、同△10円) 牛脂は、ファストフードチェーンの業績は堅調なものの、カレールーの需要減少が影響し、需給は緩和している。 豚脂は、生産量が堅調なことに加え、需給ひっ迫時に調製ラードへ移行した需要が純製ラードへ完全には戻らない等、消費量が減少していることから需給は緩和している。</li> <li>○ マレーシア産パーム油相場(6月):172円/kg(前年差+23円、前月差+4円) 5月生産量は170万トン(前月比113.5%)、輸出量は137万トン(同111.7%)、月末在庫は175万トン(同100.5%)となった。 コロナ禍にツリーの植え替えが進まなかったことにより、増産割合次第では相場の上昇が見込まれるものの、6月の輸出量は伸び悩んでおり、先行きが不透明となっている。</li> <li>○ 関東飼料用油脂(6月):114円/kg(前年差△30円、前月差±0円)</li> <li>○ 工業用油脂(6月):95円/kg(前年差△20円、前月差±0円)</li> <li>○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(6月):123円~126円/kg程度(前年差△20円、前月差±0円)</li> </ul>	<p>5.食用加工油脂価格 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年3月1日</td> <td>155</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>令和4年4月1日</td> <td>175</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>令和4年7月1日</td> <td>195</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>令和5年1月1日</td> <td>175</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>令和5年4月1日</td> <td>165</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>令和5年7月1日</td> <td>155</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月1日</td> <td>145</td> <td>155</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和4年3月1日	155	150	令和4年4月1日	175	170	令和4年7月1日	195	190	令和5年1月1日	175	175	令和5年4月1日	165	175	令和5年7月1日	155	165	令和5年10月1日	145	155
価格改定年月日	牛脂	豚脂																								
令和4年3月1日	155	150																								
令和4年4月1日	175	170																								
令和4年7月1日	195	190																								
令和5年1月1日	175	175																								
令和5年4月1日	165	175																								
令和5年7月1日	155	165																								
令和5年10月1日	145	155																								